

第3回みやぎ観光振興会議 気仙沼・本吉圏域会議

開催結果概要

委員からの主な意見

【回復戦略に対する意見】

- SDGz, DX, MaaSが、これからのキーワードになることは理解するものの、それを観光産業にどのように結び付けていくのかが具体的にイメージできない。
- NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」に関する取組は、全県的に一丸となって取り組むべき
- 基本理念が具体的ではない。基本理念と圏域の施策の方向性及び取組につながりがない。
- インバウンドは当面の間、見込めないと思うので、インバウンドには固執しない方が良い。
- イベントは観光に対する影響が非常に大きいので、イベントの回復に関する事項も盛り込むべき
- ツール・ド・東北の成功事例があるので、サイクルツーリズムの推進に全県的に取り組んではどうか。

【圏域の取組に対する意見】

- 「自然の中で楽しむスポーツやレクリエーションを組み合わせた体験型」をもっと具体的に記載すべき
- 取組スパン「短期」「中長期」の区分分けは、困難度や重要度なども含めて、もっと多角的に整理すべき
- 市町・県・事業者が連携し、情報の共有化を図った上で、一つの目標に向かって一緒に取り組めるような現実的なアクションプランを策定してほしい。
- 広域連携の一つの取組として、プレミアム商品券発行事業を提案する。